

～子どももおとなもみんなで学ぶ～

つながる ふくしの 7つのことば



藤枝市社協キャラクター
キー坊

わたし ひと ねん
私 たちのまわりには、いろいろな人がいます。みんな、年れ
い、せいべつ う くに おお す しゅみ
い、性別、生まれた国、からだの大きさ、好きなもの、趣味
など、さま ちが ちが うけい たが
など、様々なものが違います。その違いを受入れ、お互いを
みと たいせつ たが ささ しゃかい
認めあうことが大切です。みんながお互いに支えあう社会をめ
ざしていきましょう。

それでは、ちょっときになる7つの「ふくし」のことば。
みんなであなまなで学びましょう！

1. 「ふくし」

「ふくし」という言葉^{ことば}を聞いて、どんなこと^きを思^{おも}うかべるでしょうか。

お年寄^{としよ}りやからだが不自由^{ふじゆう}な人^{ひと}、子ども^こなど、
弱^{よわ}い立場^{たちば}になりやすい人^{ひと}のためのもの。それも
正解^{せいかい}です。そして、あなたがあなたらしく、元氣^{げんき}
に生きていくことができるようにするための
ものでもあるのです。

「ふくし」は、

㊦だんの ㊧らしの ㊨あわせ

という意味^{いみ}です。

あなたの“㊦だんの㊧らしの㊨あわせ”は
なんですか？

けんり 2. 権利

わたし 私たちは、みんなとゆずりあいながら、自分
で“やりたいこと”と“やらないこと”を決め
ることができます。それが「権利」です。わたし
たちはみんな、生まれたときから「権利」があり
ます。

わたし 私たちのまわりにはいろいろな人が暮らし
ていて、その一人ひとりが大切な存在です。ど
うしたらみんなの「権利」をまもることができ
るかを、みんなで考えていくことが必要です。
そのために、お年寄りやからだが不自由な人、子
どもなど、弱い立場になりやすい人の「権利」
をまもるための約束もあります。

?調べてみよう?

にほんこくけんぽう だい じょう こうふくつきゅうけん だい じょう せいぞんけん
日本国憲法 第13条「幸福追求権」、第25条「生存権」

じどう けんり かん じょうやく しょうがいしゃけんりじょうやく
『児童の権利に関する条約』 『障害者権利条約』

3. ノーマライゼーション

としよ お年寄りやからだが不自由な人、子どもなど、
よわ たち ば 弱い立場になりやすい人を特別あつかいするの
ひと とくべつ
ではなく、みんなが同じように自分らしく元氣
おな し ぶん げん き
に生きていくことをめざす 考 え方です。「ふく
い かんが かた
し」について 考 えるときに、一番大切にしたい
かんが いちばんたいせつ
ことです。

とし 年をとってもからだが不自由でも、自分らし
ふ じ ゆ う し ぶん
く生活したいと思う気持ちはみんな一緒です。
せい かつ おも き も いっしょ

だれ おな にんげん
誰もが同じ人間として、あたりまえのことをあ
しやかい
たりまえにできる社会をつくっていきましょう。

？調べてみよう？

“ノーマライゼーションの父”
ちち

バンク・ミケルセン



あい 愛ちゃん と き ぼ う 希望くん
©中央共同募金会

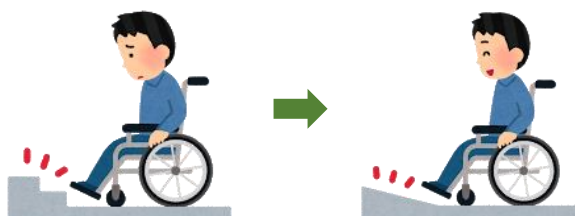
4. ユニバーサルデザイン

「ユニバーサルデザイン」は“すべての人のためのデザイン”の意味があり、年れいやからだが不自由かどうかに関係なく、最初からみんなが使いやすいものをつくることです。また、今あるものから使いにくい部分をなくして、みんなが生活しやすくすることを「バリアフリー」といいます。

道路や建物などの段差をなくしたり、みんなが使いやすいものをつくったりするだけでなく、私たち一人ひとりがやさしさや思いやりをもって行動することも大事ですね。

？調べてみよう？

心のバリアフリー



かつどう

わたし

सु

よ

私たちの住んでいるまちをより良くするた

なか

こま

たす

めに、くらしの中の困りごとをみんなの助けあ

ちから

かいけつ

かつどう

かね

いの力で解決するための活動です。お金のため

だれ

やく

た

も　も

ではなく、誰かの役に立ちたいという気持ちで、

じいさん

५५

じいさん

てつだ

自分から進んで自分にできるお手伝いをするこ

たいせつ

とが大切です。

じいさん

だれ

よろこ

自分がやったことで、誰かが喜んでくれたら

あいて

たちは

た

かつどう

ひつよう

立って活動することが必要です。

かつどう

U

また、ボランティア活動をすることで、知ら

U

あたら

とも

なかったことを知ることができたり、新しい友

だちができたりと、あなたにとってもいいこと

があるかもしれません。

6. ふくしのマーク

^{わたし}私 ^すたちの^す住んでいる^{なか}まちの中^みには、^め見た^め目で
はわからないけれど^{たす}助けを^{ひつよう}必要^{ひと}としている^{ひと}人や、
^{おも}思い^もやりを^み持^{まも}って^{ひと}見^{ひと}守^{ひと}ってほしい^{ひと}人がいます。
それを^{ひと}まわりの^し人に^{ひと}知^しってもら^しうため、いろい
ろなマークがあります。

マークと説明を線でつないでみよう！



- 「マタニティマーク」
^{あか}赤ちゃんが^{なか}おなか^{かあ}にいるお母さんがつける



- 「介護マーク」
^{としよ}お年寄りや^{ふじゆう}からだ^{ひと}が不自由な^{じぶん}人が自分ひと
りではできないことのお手伝い（介護）をし
ていることをあらわす



- 「ほじょ犬マーク」
^{ふじゆう}からだの不自由な^{ひと}人の^{いちぶ}からだの一部となっ
て働いている「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」
が、^{いっしょ}一緒^{みせ}にお店^{はい}に入ることができることをみ
んなに知らせる



- 「ヘルプマーク」
^み見て^わ分かりづらい^{しょうがい}障害^{むずか}や難^{びょうき}しい病^{ひと}気^{ひと}の人
などがつける

しゃかいふくしきょうぎかい

7. 社会福祉協議会

しゃかいふくしきょうぎかい みじか しゃきょう よ
社会福祉協議会は短くすると「社協」と呼ば
れます。ふじえだし かつどう
藤枝市で「ふくし」の活動やボランテ
ィア活動などを行っている人たちや、ふくしの
かつどう ひと
仕事をしている人たちと協力して、みんなが
しごと ひと きょうりよく
住みやすい藤枝市になるように、さまざまな仕事
をしています。

- みんなで助けあう活動を増やしていく仕事
- ふくしのがくしゅう てつだ
学習の手伝い
- お年寄りやからだが不自由な人が、お風呂に入ったり、
き 着がえたり、ごはんをた 食べたりすることなどのてつだ
手伝い
- お年寄りやからだが不自由な人のたいちょうかんり
体調管理
- ふじえししゃきょう ささ しごと
藤枝市社協を支える仕事 など

ボー いっしょ
キー坊も一緒にがんばっているので、み
見かけ
たらやさしくこえ
声をかけてね！

発行日 平成 30 年 10 月

発 行 社会福祉法人 藤枝市社会福祉協議会

〒421-1131 藤枝市岡部町内谷 1400-1 藤枝市福祉センターきすみれ内

電話 054-667-2940 FAX 054-667-3319

ホームページ <http://www.fujiedashakyo.jp>

～ Special Thanks to Kenshin, Keito, Hiroto, Haruto, Rai ～

この冊子は、赤い羽根共同募金助成金で作成しています

